環境を守るをために

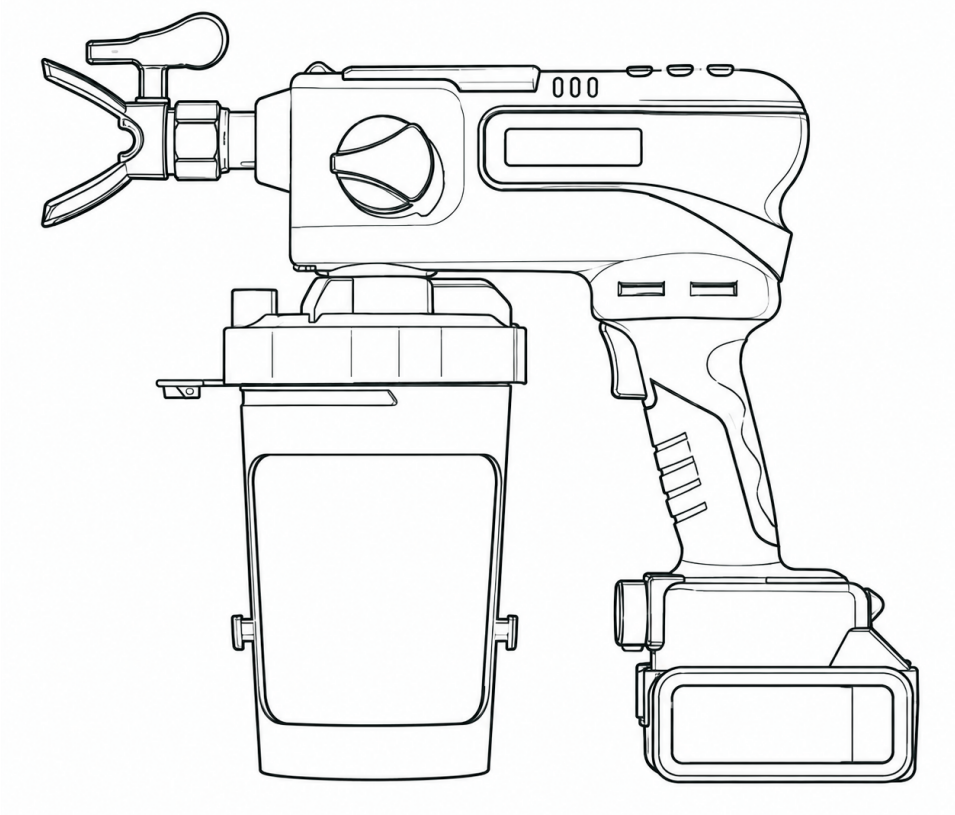
環境に優しい方法で製品本体及び付属品を回収ください。
廃棄する際に一般の家庭ゴミと区別する必要があります。
正しい廃棄、処理、再利用、リサイクルのため、指定された回収場所までお持ちください。

充電式スプレーガン保証書

型番	MT-PQQ-001
お 客 様	お名前 ご住所　　〒 お電話番号
お買い上げ日	
保証期間:（お買い上げ日から） 本体一年間	
ご注文番号	

充電式ハンディエアレス塗装機（ピストン式）

取扱説明書



ご使用前に、この取扱説明書をよく お読みいただき本機の性能を十分ご理解 の上で、適切な取り扱いと保守をしてい ただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださる ようお願いいたします。

※ 本書内の図は説明用です。製品の仕様 · 外観は改良のため予告なく変更される場合があります。

※ 付属品 · セット内容は販売仕様により異なります。

※バッテリー · 充電器 · パッド類が付属しない仕様もあります。

型番：MT-PQQ-001

弊社製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。弊社は「品質本位、サービス最優先」を経営理念とし、製品の完成度を高めることに尽力しております。本製品のご使用期間中、製品に関するご質問への回答やアフターサービスを継続してご提供いたします。

本書の見方

本文中の「警告」「注意」「注」は、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な表示です。必ず内容を確認してください。

警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うおそれがある内容です。
注意	けがまたは物的損害が生じるおそれがある内容です。
注	製品を正しく使用するための重要な内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

注意 ご使用の前に、本取扱説明書を最後まで必ずよくお読みください。
次に示すすべての指示に従わない場合は、感電、火災または重傷を招く恐れがあります。

1、初めてご使用になる前に、製品の各部名称、操作方法および注意事項を十分にご理解ください。
2、後で参照できるように、お読みになった後はいつでも見られる場所に保管してください。
3、次に示すすべての警告における「電動工具」という用語は、電源式（コード）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

作業環境と取り扱い

1、小さなお子様の手の届く場所で使用・保管しないでください。
2、雨中、湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。感電・故障の原因になります。
3、可燃性ガス、揮発性液体、粉じんの多い場所では使用しないでください。火災・爆発のおそれがあります。
4、作業場所は十分に明るくし、周囲を整理整頓してください。散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
5、濡れた手でバッテリー・充電器・電気部品に触れないでください。
6、作業中はお子様や第三者を近づけないでください。意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。
7、異音、異常振動、発熱、異臭がある場合は直ちに使用を中止してください。

使用前後の確認

1、使用前に各部のゆるみ、破損、変形がないか確認してください。
2、無理な姿勢で作業せず、安定した足場を確保してください。
3、使用しないときはスイッチを切り、バッテリーを取り外してください。
4、落下や強い衝撃を与えないでください。
5、指定された用途以外には使用しないでください。

人の安全性

a）電動工具の使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。
疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいる時は、電動工具を使用しないでください。
電動工具を使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
b）安全保護具を必ず使用してください。常に保護メガネを装着してください。
適切な状態で防じんマスク·滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓など安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。
c）偶発的な始動を避けてください。プラグに差し込むに必ずスイッチを「off」にしてください。
スイッチに指を掛けて電動工具を運んだり、スイッチが「on」の状態で電動工具のプラグを差し込むと、事故につながる恐れがあります。
d）電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーを付けたままにしておくと、人的傷害をもたらす恐れがあります。
e）無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。
これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
f）作業に適した服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品はにつけないでください。
髪、服および手袋を回転部に近付けないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
g）集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。
これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

電動工具の使用及び手入れ

a）電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。
より適切、安全に作業ができます。
b）スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。
スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
c）調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントから抜くか、または電動工具から蓄電池を外してください。
このような予防的安全手段によって、電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
d）使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと危険です。
e）電動工具の保守を行ってください。電動工具の動作に影響する恐れがある可動部分の心ズレまたは締付け状態、部品の破損及びその他の状態を点検してください。
電動工具工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。
f）先端工具を適切に手入れして鋭利にしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
g）電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、それらの取扱説明書に従って使用する電動工具に合うように使用してください。
意図された作業と異なる作業に電動工具を使用すると、人的傷害をもたらす恐れがあります。

修理について

a）電動工具の整備は有資格者の方のみ行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。電動工具を整備する場合、純正交換部品のみを使用してください。
これによって、電動工具の安全性を維持するこができます。
b）**注意!**
電動工具の整備は、本書に推奨された交換部品を利用しないことが、多くの事故の原因となります。純正交換部品のみを使用してください

バッテリー充電器に関する安全上のご注意

- バッテリー充電器は雨や湿気などにさらさないでください。水の浸入の原因で感電のリスクが増大します。
- 充電器の修理は、有資格者まが行ってください。バッテリー充電器、ケーブル、プラグが損傷すると、感電の危険性が高まります。可燃性の高い場所で充電器を操作しないでください。
- 充電器の電圧とバッテリー電圧は一致にしてください。一致しないと、火災や爆発の危険性があります。
- バッテリー充電器はいつもきれいな状態でご使用ください。ゴミやホコリが付着すると、感電の危険があります。
- 使用する前に、バッテリー充電器、ケーブルまたはプラグの完全性を確認してください。 バッテリー充電器に損傷がある場合は、使用しないでください。 バッテリー充電器を自分で分解・修理しないでください。純正部品のみを使用してください。充電器、ケーブルまたはプラグの損傷は感電の原因となります。
- 充電は紙や布など、燃えやすいものの上で行わな いでください。また、まわりに燃えやすいもの
- がない安全な場所で行ってください。充電中にACアダプターが高温になってこれらのものに引火し、 火災につながる危険があります。
- 子供が充電器で遊ばないように注意してください。
- この充電器は【対象年齢 8才以上用】です。また　身体障害、知的障害又は精神障害の低下する方、使用経験不足の方に対しては、監督指導が必要となります。そうでないと、誤操作による危険があります。
- 高温多湿、直射日光を避けて保管してください。長期間使用しない場合は、本体から取り外してください。残量が少ない状態で長期間放置しないでください。
- バッテリー液が目や皮膚に付着した場合は清水で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。

本製品使用時のご注意

本機は、水性塗料を高圧で噴霧する携帯型エアレス塗装機です。塗装以外の用途や、人体・動物への噴射、可燃性・爆発性のある液体の噴霧には使用しないでください。

高圧噴射によるけがを防ぐために

- 噴射中は、ノズル先端に指・手・身体の一部を近づけないでください。
- 人や動物に向けて噴射しないでください。
- ノズルガードを外した状態では使用しないでください。
- 本機の最大使用圧力は120parです。高圧で噴射された塗料は皮膚や皮下組織に侵入し、重大な損傷を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告　高圧で噴射された塗料が皮膚内に注入された場合、外見上は小さな傷でも重症化することがあります。直ちに医療機関を受診し、使用していた塗料・洗浄液の種類を医師に伝えてください。

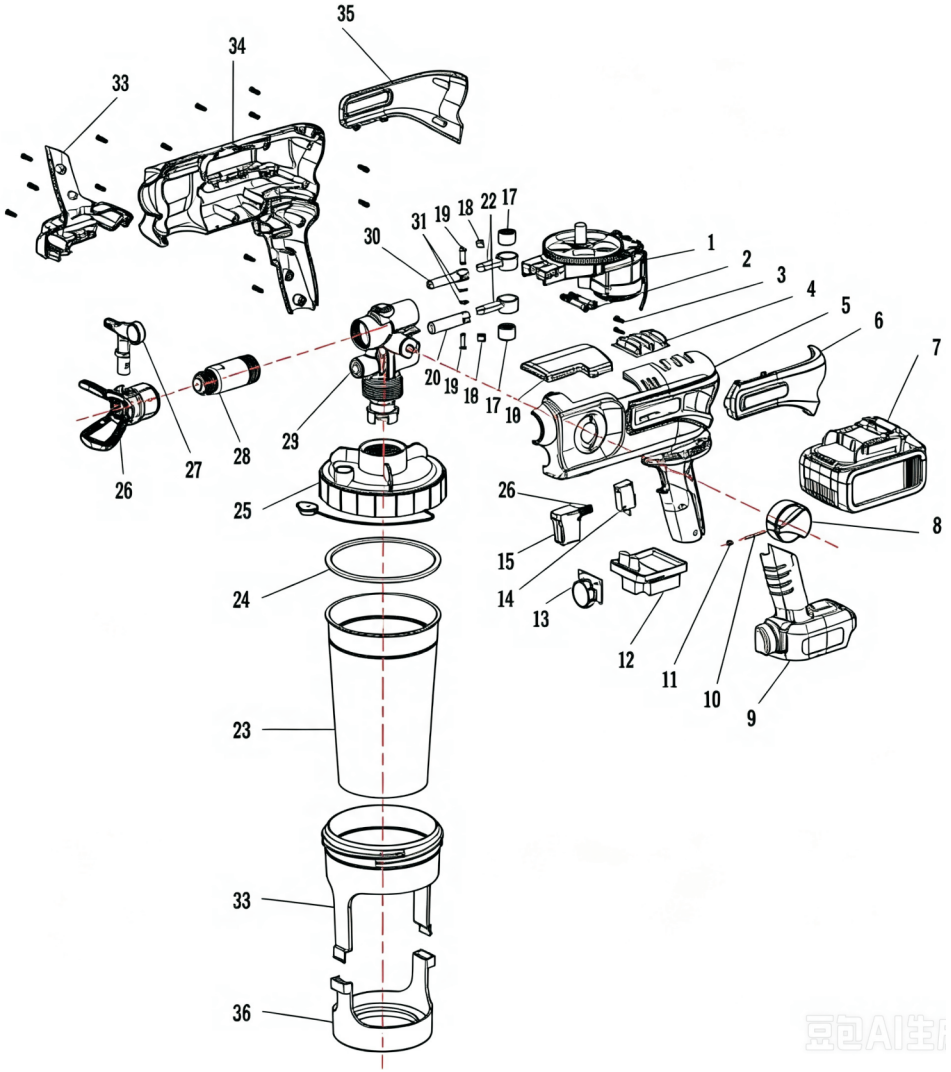
- ノズルの交換・清掃・点検、作業中断時は、必ず圧力を抜いてからバッテリーを取り外してください。
- 目詰まり確認のために、指や布でノズル先端をふさがないでください。

塗装材料・作業場所る注意

- 本機は水性塗料専用です。「可燃性」「引火性」等の表示がある材料は使用しないでください。
- 引火点21℃未満の塗料・液体は使用しないでください。材料の安全性は、塗料メーカーのSDS（安全データシート）で確認してください。
- 作業場所は十分に換気し、可燃性蒸気が滞留しないようにしてください。
- 火気、喫煙、静電気火花、電気火花、高温物、パイロットランプなどの着火源を近づけないでください。
- 可燃性材料を扱う場所をプラスチックシートやカーテンで密閉しないでください。静電気が発生するおそれがあります。
- 塗料・洗浄液メーカーの注意事項、使用方法、保護具の指示に従ってください。
- 保護メガネ、塗装作業に適した呼吸用保護具、保護手袋、作業着を着用してください。

本体構成・分解図

下図は本体構成を示す参考図です。ユーザーによる分解・修理を目的とした図ではありません。内部点検や修理が必要な場合は、販売店またはサポート窓口へご相談ください。



注意 本機を分解・改造しないでください。高圧部や電気部品の損傷により、けが・漏れ・故障の原因となります。

部品一覧（参考）

No.	部品名	部品コード	No.	部品名	部品コード
1	伝動部 ASSY	7500262	19	コネクティングロッドピン 4×16	7500119
2	ねじ 5×35	7500127	20	ピストンロッド 12	7500232
3	ねじ 2.9×19	7500120	21	ボトムブラケット	7500217
4	後部上カバー	7500207	22	フレーム	7500218
5	右ハウジング	7500210	23	ソフトカップ 1300mL	7500219
6	後部カバー	7500208	24	大型ガスケット115×105×3	7500220
7	リチウムイオンバッテリー（販売仕様により付属）	7500107	25	カップふた	7500221
8	リターンバルブノブ	7500212	26	ノズルガード	2800015
9	グリップ下部（右）	7500209	27	スプレーノズル	2888415
10	リターンバルブノブ固定部	7500112	28	供給部 ASSY	7500260
11	固定ねじ 4×5	7500113	29	ポンプ ASSY	7500261
12	基板	7500108	30	ピストンロッド 9（小）	7500253
13	速度調整器	7500109	31	止め輪 3.5	7500126
14	スイッチ	7500111	32	コネクティングロッド	7500201
15	スイッチボタン	7500110	33	グリップ下部（左）	7500247
16	保護カバー	7500211	34	左ハウジング	7500248
17	ベアリング 1217	7500102	35	左後部カバー	7500249
18	コネクティングロッドブッシュ	7500246	36	トリガースプリング 7.9×27×1.2	7500254

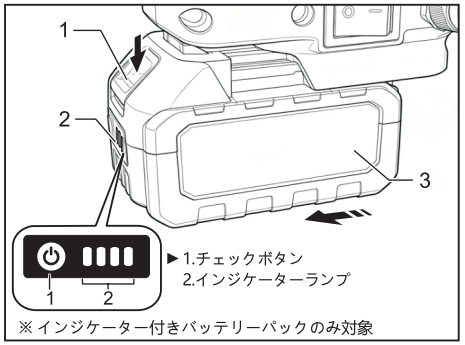
※ 部品名称は、元資料の英語表記を日本語で分かりやすく整理した参考名称です。

バッテリーの充電について

⚠ **注意：** バッテリーパックの取り付け・取り外しを行う前に、必ず電源スイッチを切ってください。

⚠ **注意：** バッテリーパックの取り付け•取り外しの際は、工具とバッテリーパックをしっかり保持してください。工具とバッテリーパックをしっかり保持しなかった場合、手から滑り落ち、工具やバッテリーパックの破損、またはけがの原因となるおそれがあります。

※ バッテリーおよび充電器は、販売仕様により付属しない場合があります。



▶ 1.赤色ボタン 2.インジケーター 3.バッテリーパック

バッテリーの取り付け

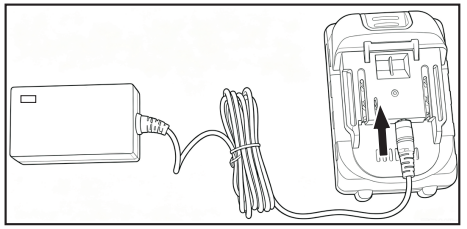
電池パック取り付け時，スイッチが「OFF」状態になっていることを確認してください。電池パックの凸部を本体の溝に合わせてスライドさせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとしっかり固定されます。

バッテリーの取り外し

電池パック取り外し時，スイッチを「OFF」に切り替えてください。電池パック表面のボタンを押しながら、本体から電池パックをスライドさせて取り外します。

注意： バッテリーパックを無理に取り付けないでください。スムーズに挿入できない場合は、取り付け位置が正しくありません。

注意	18V MAKITA ッテリ対応 MAKITA 互換性 18V 3.0 Ah/4.0 Ah/5.0 Ah/6.0 Ah...



充電方法

電池を充電器に正しく差し込んだ後、充電器のプラグを家庭用電源に接続してください。

充電中は充電器のランプが赤色に点灯します。電池が満充電になるとランプが緑色に変わります。

電池を取り外し、プラグをコンセントから抜いてください。

注意事項

1) 充電前に、電池電源スイッチがOFF位置にあることを確認してください。充電中に充電器と電池が発熱するのは正常です。
2) もし電池が長期的に使用しないならば、お勧めは3ヶ月ごとに電池に一回充電して、このように電池の使用寿命を保証することができて電力量が低すぎるため影響を受けません。
3) 新しい電池または長い間使用されていない電池では、満容量に達するまでに約5サイクルの充放電サイクルが必要である。
4) フル充電されたバッテリーを数分間使用してから充電しないでください。これはバッテリーの稼働時間と効率を低下させる可能性があります。
5) 破損、変形、腐食、臭い、外観異常のある電池は使用しないでください。充電器と電池を分解しないでください。
6) 電池を高温、熱源の近くに置かないでください。そうしないと、バッテリーが高温熱源に長時間さらされて爆発したり、火災になったりします。
7) 屋外や湿気の多い環境で電池を充電しないでください。湿った環境に電池を保管しないでください。
8) 電池は子供の手の届かないところに置いてください。
9) 電池に釘を挿入したり、電池をハンマーで叩いたり、電池を踏んだり、電池に電池を投げたり、他の形の電気ショックを与えないでください。
10) バッテリーを充電コンセントや自動車のシガレット点火器コンセントに接続しないでください。

使用時の注意点 / 保守 ● 点検

使用時の注意点

1. 一か所に長時間当て続けないでください。
2. 作業中は常に本体を動かしてください。
3. 曲面や角部では力を入れすぎないでください。
4. ワックスやコンパウンドは少量ずつ使用してください。
5. 目立たない場所で試してから作業してください。
6. 本体が熱くなった場合は、使用を中止して冷ましてください。
7. 異常振動を感じた場合は、パッドの取付状態を確認してください。

使用後のお手入れ

- 乾いたやわらかい布で汚れを拭き取ってください。
- ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた布を固くしぼって拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。
- 通風口や可動部にほこりがたまらないよう清掃してください。

点検項目

- スイッチの作動
- バッテリーの装着
- 伸縮ロッド固定部
- 補助ハンドル
- パッドの破れ・変形・摩耗
- 本体のひび割れ・変形

保管方法

- バッテリーを取り外し、乾燥した場所に保管してください。
- 高温、多湿、直射日光、凍結を避けてください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

症状	確認すること
動かない	バッテリー残量、取付状態、スイッチ状態を確認してください。
回転が弱い	残量不足、パッド劣化、過度な押し付けがないか確認してください。
異常振動がある	パッドの片寄り、破損、取付不良がないか確認してください。

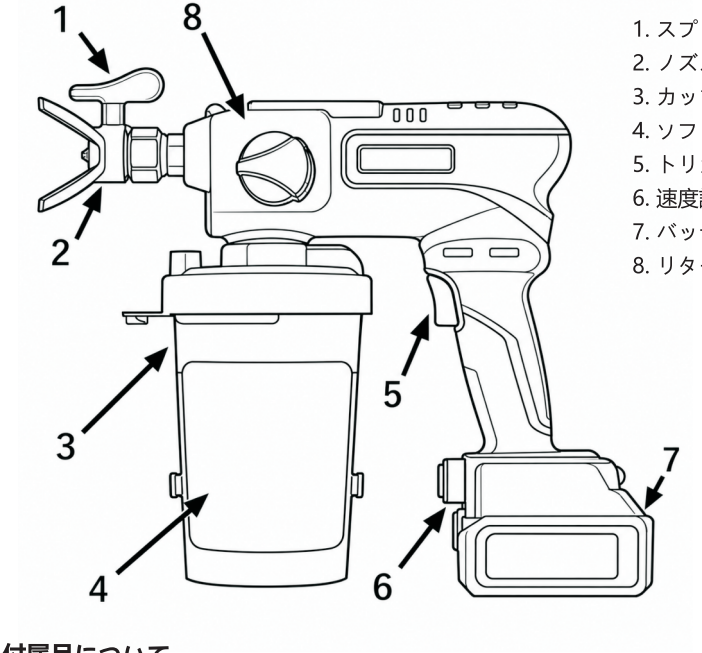
改善しない場合は使用を中止し、販売店またはサポート窓口へご相談ください。

仕様・各部の名称

主な仕様

No.	項目	仕様	備考
1	定格電圧	18 V	
2	モーター出力	450 W	
3	最大吐出量	1 L/min	
4	最大圧力	120 bar	
5	最大対応ノズル	0.017インチ	
6	カップ容量	1300 mL	
7	質量	約2.4 kg/約3.0 kg	バッテリーなし / 装着時（目安）
8	梱包サイズ	43.5×31.5×15 cm	
9	対応バッテリー	マキタ18Vリチウムイオンバッテリー対応	

各部の名称



1. スプレーノズル
2. ノズルガード
3. カップホルダー
4. ソフトカップ（塗料カップ）
5. トリガースイッチ
6. 速度調整ダイヤル
7. バッテリー
8. リターンバルブノブ

付属品について

塗料カップ（予備カップを含む）

※ 付属品の種類・数量は、購入された製品仕様・販売セットにより異なる場合があります。実際のセット内容は、商品ページおよび購入時の内容をご確認ください。

ノズルと速度設定 / 使用できる材料

ノズルと速度設定の目安

ノズル型番	ノズルサイズ	速度設定
417	0.017インチ（約0.43mm）	5～6
416	0.016インチ（約0.41mm）	4～5
415	0.015インチ（約0.38mm）	3～4

塗料の粘度や作業条件に応じて、噴霧状態を確認しながら調整してください。設定が低すぎると霧化不足、高すぎると飛散量増加につながることがあります。

使用できる材料

- 水性塗料を使用してください。
- 塗料メーカーがエアレス塗装に適合するとしている材料を使用してください。
- 「可燃性」「引火性」の表示がある材料、引火点21℃未満の材料は使用しないでください。
- 塩素系漂白剤などの腐食性洗浄剤は使用しないでください。本体内部の金属・シール部品を損傷するおそれがあります。

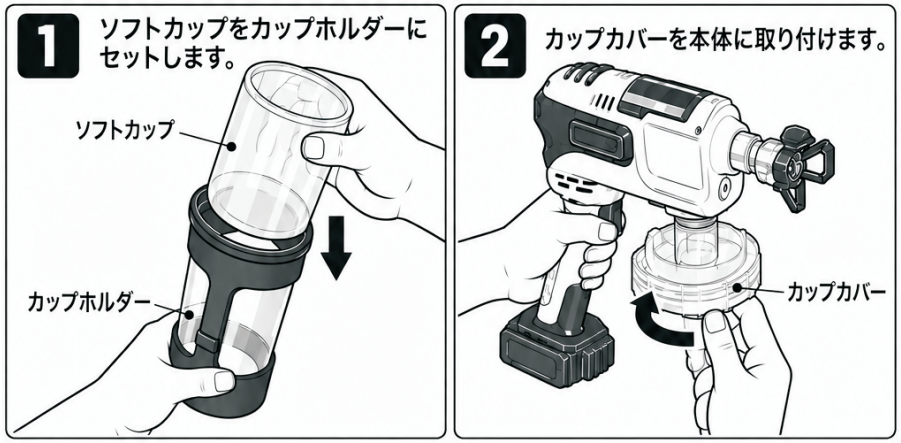
モーター保護機能

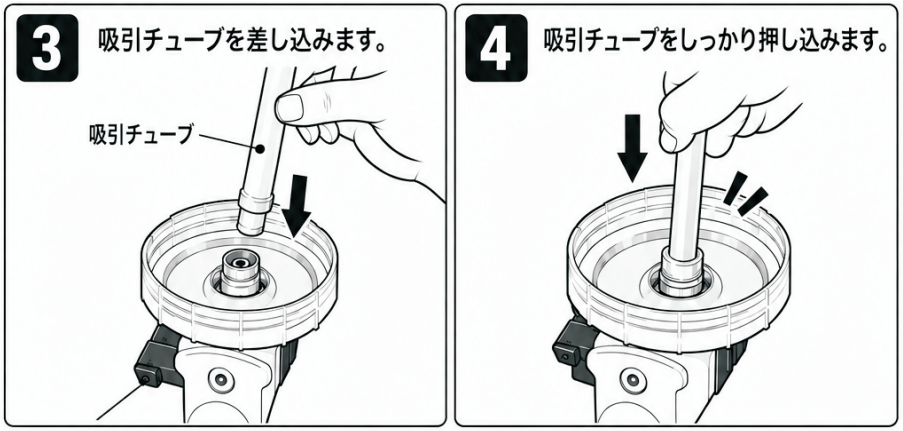
モーターには過負荷・過熱保護機能があります。作業中に停止した場合は、直ちに収納せず、風通しのよい場所で十分に冷ましてください。温度が下がると正常に作動する場合があります。繰り返し停止する場合は使用を中止し、原因を確認してください。

重要： 塗料を入れる前に、ノズル・カップ・バルブが正しく取り付けられていることを確認してください。

ご使用前の準備

1）塗料カップの組み立て・取り付け









2) リターンバルブの位置を確認する

● 本製品を使用する前に、リターンバルブの位置と機能を確認してください。



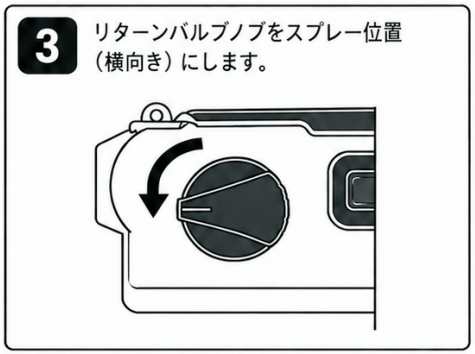
初回洗浄の続き / 圧力の抜き方

初回使用時の洗浄

工場出荷時には、作動確認に使用した試験液が本体内部に少量残っている場合があります。初めて使用するときは、塗料を入れる前に水で内部を洗浄してください。









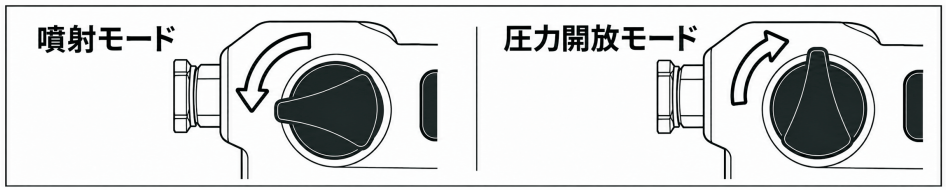




圧力開放手順（作業中断・清掃・ノズル交換前）

> ⚠ 警告　高圧が残っている状態でノズルやカップを外さないでください。

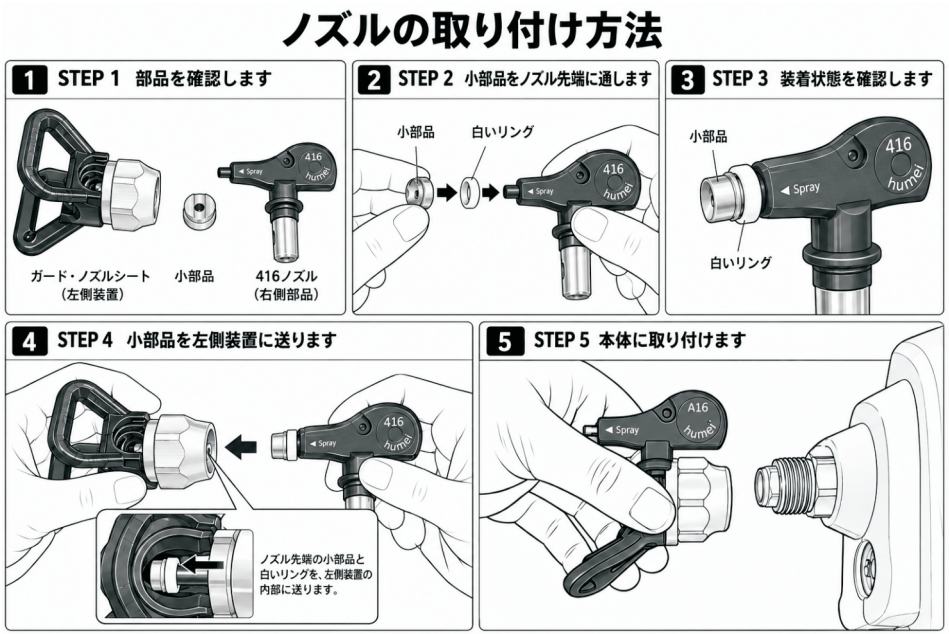
1. トリガーを離します。
2. リターンバルブノブを圧力開放位置（上向き）にします。
3. 安全な方向へ向け、必要に応じて残圧がないことを確認します。
4. バッテリーを取り外します。



ノズルが詰まったとき

- 圧力を抜き、ノズルを180°回して目詰まり除去位置にします。
- 安全な廃液容器に向けて短時間噴射し、詰まりを排出します。
- 改善しない場合は、圧力を抜いてバッテリーを外し、ノズルを清掃または交換してください。

禁止：塩素系漂白剤などの腐食性洗浄剤、可燃性溶剤は使用しないでください。



塗装する

1. 塗料を準備する

1. 塗料をカップに入れる
よく攪拌した水性塗料を塗料カップに入れます。
塗料はカップいっぱいまで入れず、適量を入れてください。



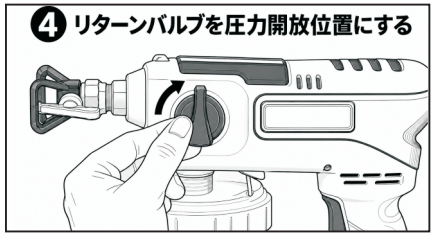
2. 塗料カップを本体に取り付ける
塗料カップを本体の取付部に合わせ、回してしっかり固定します。



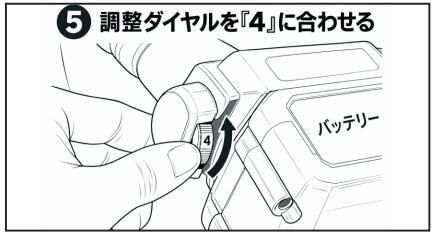
3. 塗料カップを本体に取り付ける
塗料カップを本体の取付部に合わせ、回してしっかり固定します。



4. リターンバルブを圧力開放にする
塗装を始める前に、リターンバルブを圧力開放にします。



5. 速度調整ダイヤルを「4」に合わせる
速度調整ダイヤルを「4」に合わせます。



6. トリガーを引いて循環を確認する

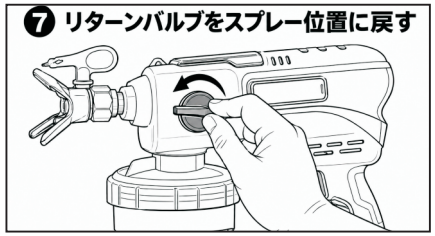
本体を安定して持ち、トリガーを10～15秒程度引き、塗料を循環させます。

塗料が正常に循環していることを確認してください。



7. リターンバルブをスプレー位置に戻す

塗料の循環を確認したら、トリガーを離し、リターンバルブをスプレー位置（横向き）に戻します。



2. 試し吹きを行う

8. 試し吹きで噴霧状態を確認する

ノズルを安全な方向へ向けて試し吹きを行い、噴霧状態を確認してください。

3. 塗装を開始する

噴霧状態に問題がないことを確認したら、塗装作業を開始します。

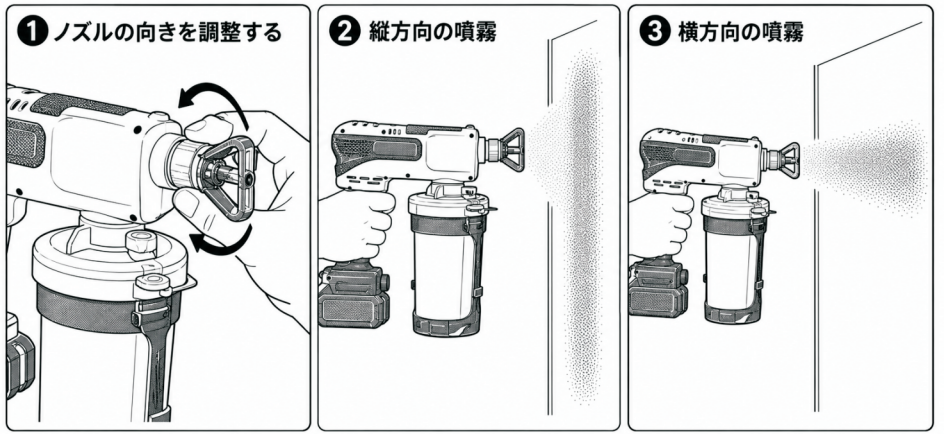
塗装面との距離を一定に保ち、本体をできるだけ平行に動かしてください。同じ場所に長時間吹き付けると、塗料のタレや厚塗りの原因になります。

きれいに仕上げるコツ

- 塗装面との距離は約25~30cmを目安に保ち、ノズルを面に対してできるだけ直角に向けます。
- 一定の速度で平行に動かし、1回ごとの吹付けを少し重ねるとムラを抑えやすくなります。
- 方向を変えるときは、いったんトリガーを離してから折り返してください。
- 同じ場所に長く吹き付けると、タレや厚塗りの原因になります。
- 作業中に噴霧が弱くなったり脈動したりした場合は、無理に続けず、圧力を抜いてノズル・塗料量・設定を確認してください。

重要: 本書の圧力開放操作を行わずにカップやノズルを外すと、塗料が噴き出すおそれがあります。

ノズルの向きによる噴霧方向



使用後の洗浄

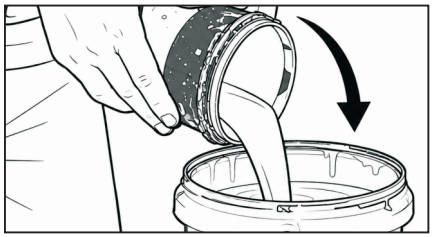
塗料が本体内部で乾燥すると、目詰まりや故障の原因になります。

作業終了後は、その日のうちに洗浄してください。

重要: 洗浄前は、必ずリターンバルブを圧力開放位置（上向き）にし、圧力を抜いてからバッテリーを取り外してください。

1. 残った塗料を戻す

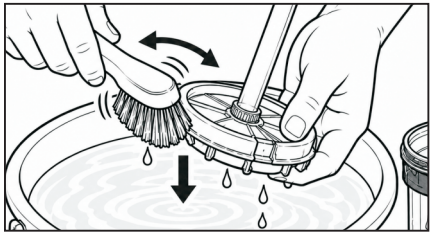
カップホルダーを本体から取り外し、残った塗料は元の容器、または適切な容器に戻します。



2. カップふたと吸料チューブを洗う

カップふたと吸料チューブを取り外し、清水に浸してください。

汚れが残る部分は、やわらかいブラシで洗い流します。



3. 本体内部を洗い流す

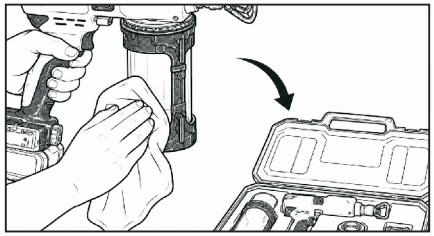
塗料カップに清水、または水性塗料メーカーが指定する本機対応の洗浄液を入れ、本体に取り付けます。

リターンバルブをスプレー位置（横向き）にし、廃液容器に向けてトリガーを引き、排出液がきれいになるまで運転します。

4. 乾燥させて収納する

必要に応じて吸料チューブを元の位置に差し込み、カップホルダーを組み立て直します。

洗浄後は、各部の水分や汚れを乾いた布で拭き取り、十分に乾燥させてから収納してください。

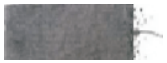


補足

- 塩素系漂白剤などの腐食性洗浄剤は使用しないでください。
- 可燃性溶剤は使用しないでください。
- 洗浄後は、小さな部品の付け忘れがないことを確認してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
トリガーを引いても作動しない（モーター音なし）	バッテリー残量不足	充電する、または充電済みバッテリーに交換する
	バッテリー未装着/不適合	適合するバッテリーを正しく装着する
	モーター過熱	使用を中止し、十分に冷ます
	基板の過負荷/過熱保護	本体を冷ましてから再起動する
	基板故障	使用を中止し、修理を依頼する
モーターは動くが塗料が出ない	リターンバルブが循環位置のまま	リターンバルブをスプレー位置に切り替える。
	ノズル詰まり	ノズルを清掃または交換する
	塗料が空/不足	塗料を補充する
	供給バルブの固着・詰まり	清掃・点検し、改善しない場合は交換または修理を依頼する
	ニードルASSYが開かない	使用を中止し、ニードルASSYの点検・交換を依頼する
霧化が悪い	ノズルが部分的に詰まっている	ノズルを清掃または交換する
	ノズルの向きが不正	ノズルをスプレー位置に合わせる
	ノズルが摩耗している	ノズルを交換する
	「圧力設定」が低すぎる	霧化が安定するまで速度設定を上げる
	供給/吐出バルブの摩耗で圧力不足	バルブの点検・交換を依頼する
注意	点検前に必ず圧力を抜き、バッテリーを取り外してください。内部修理は無理に行わないでください。	

状態	症状	主な原因	対処方法
	塗膜が波状になる/筋状のムラが出る	移動が速すぎる/圧力不足/ノズル・フィルター詰まり	移動速度を落とす。速度設定を上げる。ノズル・フィルターを清掃する。
	噴霧が不均一	塗料が不適合/供給・吐出バルブ部の摩耗/ノズル不適合	適合材料へ変更する。バルブを点検する。適合ノズルへ交換する。
	塗料がタレる	移動が遅すぎる/塗装面に近すぎる/方向転換時もトリガーを引いている/ノズル不適合	移動速度を上げる。距離を約25cm以上にする。方向転換時はトリガーを離す。
	噴霧幅が狭い	ノズル摩耗・損傷/塗装面に近すぎる/ノズル不適合	ノズルを交換する。距離を約25cmにする。適合ノズルへ交換する。
	噴霧幅が広すぎる	塗装面から遠すぎる/ノズル不適合	距離を約25~30cmに調整する。適合ノズルへ交換する。
	吹き始め/吹き終わりに塗料がたまる	ノズル・ノズルシートに塗料が付着/ノズルガードの締付不足/ノズル摩耗	ノズル周辺を清掃する。ノズル/ガードを正しく取り付ける。必要に応じて交換する。
	トリガーを離しても液だれする	ニードルASSY摩耗/ノズルフィルター詰まり・損傷/ノズル・ガードの締付不足/ノズル摩耗	該当部品を清掃・再取付・交換する。改善しない場合は修理を依頼する。

保守・保管

日常のお手入れ

- 使用後は毎回、本書「11. 使用後の洗浄」に従って塗料経路・カップ・ノズルを洗浄してください。
- 本体外側は、固く絞った柔らかい布で拭いてください。本体を水に浸けたり、高圧の水をかけたりしないでください。
- ノズル、フィルター、シール類に摩耗・変形・亀裂がある場合は使用を中止し、必要に応じて交換してください。
- 異音、異臭、異常な発熱、液漏れ、圧力低下がある場合は、直ちに使用を中止してください。

保管

- 十分に洗浄・乾燥させ、バッテリーを取り外して保管してください。
- 子どもの手の届かない、乾燥した場所に保管してください。直射日光、高温多湿、凍結のおそれがある場所を避けてください。
- ノズル先端やカップに負荷がかからない状態で保管してください。